

【事業者向け】児童発達支援 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・訓練室内は不必要な物を置かずに、安全で構造化に配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・毎日職員が朝と夕方に施設内を清掃と消毒を行っている。空気清浄機を設置し、清潔を保って活動の場を提供することができている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・評価表とは別に、年に一度保護者に向けて、アンケートを配布し、意見をいただいている。今後も全体で把握して、業務につなげていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に支援勉強会を開催している。研修にも積極的に参加している。施設内研修にも参加し職員全体の資質向上に努めている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・利用前の面談を大切に、相談支援事業所と情報を共有しながら支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・発達支援(生活・社会性・運動)や家族支援・地域支援については支援計画の項目に細かく盛り込まれている。 ・地域支援については、保護者の了解を得た上で関係機関の訪問や情報交換などに努め、計画には反映させている。 ・家族支援については、活動が主に保護者付き添いなどもあり、個別に対応させていただいている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・支援計画をチーム内で共有し、それに沿った支援に努めている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・週交代で立案者が中心となり、チーム内で相談しながらプログラムの案を立てている。

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・年間スケジュールを作成して、プログラム内容が偏らないように工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・個々の年齢や特性に応じて、集団と個別の活動を組み合わせ提供させていただいている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎朝のミーティングにおいて、当日の利用児情報やプログラムの内容や職員の動きを確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・職員間でその日の支援を振り返り、担当がケース記録にまとめている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・観察と記録を丁寧に行い、それを基に職員間で話し合っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的なモニタリングの他にも、活動中に保護者とコミュニケーションをとりながら見直しの判断をしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・主に児童発達管理責任者が参画している。または、担当職員も同行して共有している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・乳幼児健診からの紹介や、関係機関からの紹介もあり、その都度連携して支援している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		・現在の所、該当なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		・現在の所、該当なし。 ・医療的ケア児支援センターからの情報交換や、医師会がすすめる情報共有システムの説明会などに積極的に参加している。
	25	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行にむけた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・小学校や保護者からの依頼があった場合は、移行前の支援内容については情報提供をしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・複数の事業所を利用しているお子さんについては、必要に応じて電話等で情報交換をしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	・コロナ禍もあり、実施の機会はなくなっている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	○			・自立支援協議会児童支援部会や自治体主催の支援会議に参加し情報交換をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・保護者付き添いの活動が主なため、活動中に保護者とコミュニケーションをとりながら、お子さんの様子について共有している。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・子育てや関わり方に悩む保護者については、ペアレントトレーニングを勧めている。プログラムとして長期間の取り組みができずにいるが、個別支援の時に助言を続けている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの相談があった際は、いつでも面談の機会を設けるようにしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・現在、父母の会の活動はない。保護者の交流会や勉強会を開催して参加保護者に必要な情報を発信している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・保護者からの相談内容を整理して、必要な体制の検討をしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年2回の会報を発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・個人情報取り扱いについてが同意書にサインをいただいている。写真の掲載についても、再度確認のため保護者の承諾を得るようにしている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・特性に応じたコミュニケーションや伝え方に配慮している。父母が付き添いできない場合には、連絡帳などで伝達不足がないように配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・新型コロナウイルスの感染拡大予防のために、地域を招待した行事を開催することに難しさがあった。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・各種マニュアルは作成済みである。定期的に職員で研修や訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		・アセスメントシートにて、持病の把握をしている。服薬の変更や発作の頻度などは、保護者に聞き取り把握に努めている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現状では食物アレルギーの該当児童はいない。食事提供は行っていないため、提供がある活動の際には事前に再確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット記録をとって、職員で振り返られるようにしているが、事例集は作成していない。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止委員会によるチェックリストの実施や、虐待防止の施設内研修に参加し防止に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・現在のところ、該当するお子さんはいない。